



カラーバリエーションにも余念はなく、一番人気というゴールドに加え、エッジが冴えるメタルシルバーやスポーティなブラックメタリックと全3カラーを用意(サイズにより設定カラーは異なる)。ボディカラーやオーナーの好みによって自分好みの1本を選べるのはうれしい。



ゴールド

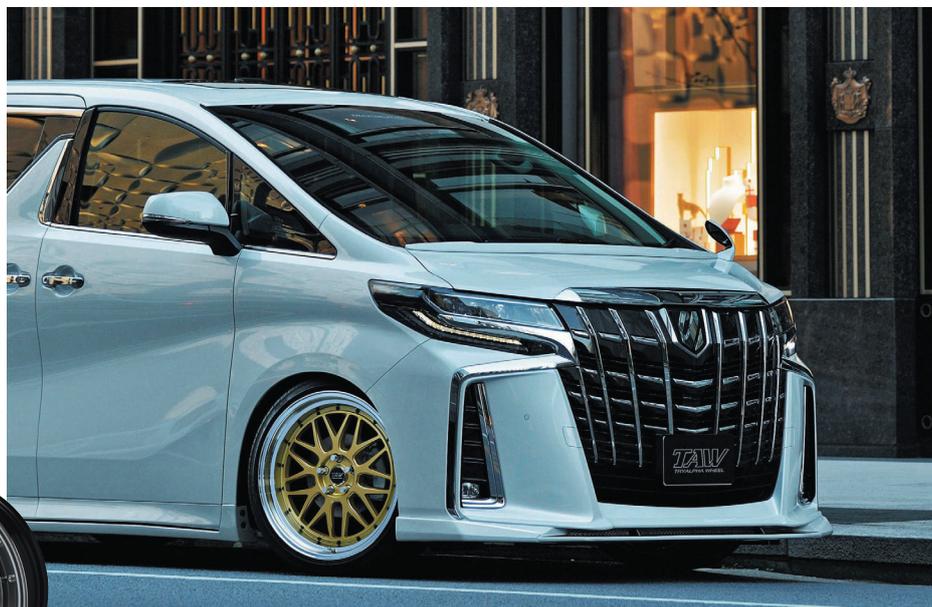


メタルシルバー



ブラックメタリック

クルマ用の高品質な大径メッシュホイールを手頃感のあるプライスで 現代に蘇ったノスタルジーなメッシュホイール



トリアルファ Leowing FM9

トリアルファ <https://tryalpha.jp/>

トリアルファは長年、有名ブランドのアルミホイールの開発や設計に携わってきた湯浅代表が、2016年に立ち上げた新気鋭のブランドだ。「本当にいいものを、ユーザーにできるだけ手頃な価格で届けたい」。そうした信念のもとラインアップを拡大し、幅広いニーズに答えてきた。中でも同社のアイデンティティーともいえるのが、湯浅代表自身が一番好き



ステップリム×フラットディスクの最強コンビ

「リムが深いのにディスク面が平らなのが最大の特徴であり、こだわった部分です。ディスクを平らにすると車種によってはビッグキャリパーが収まらないケースもありますが、そこは妥協せずにデザインを優先しました」とトリアルファの湯浅代表は語る。

幅広い車種にマッチする ネオクラシックデザイン



▲トヨタ カラーラツ
リング



▼ダイハツ タント

レオウイングFM9は15インチから20インチまで設定するが、そのフラッグシップといえるのが30系アルファード&ヴェルファイア向けサイズ。20インチはチューナーサイズとなる10J+35mmで用意されているのもオーナーにとってはうれしいニュースだ。

だというメッシュデザイン。ここでクロージアアップするのは、同社のメッシュとしては3作目となる『レオウイングFM9』。まさにトリアルファの集大成ともいえる渾身の作となっている。奇をてらわずにシンプルに徹した9交差のメッシュスポークは、今どき感のあるエッジの効いたフォルムでありながら、どこか懐かしさも感じさせる。応力分散を考

えたスポーク形状は強度と軽さを両立するために導き出されたいわば必然。ナットホールを配したデザインセンターをさらに一段落とし込むことで、存在感を増している。さらに10Jサイズの20インチでは奥行き感を強調するステップリムを採用。これがフラットなディスクフェイスがよく似合う。そして嬉しいのがそのプライス。20インチの本格メッシュホイールが7万円代で手に入れられるのだ。



手頃なのに有名ブランドと 変わらぬ高品質

洗練された意匠のアクセントとなっているのが、ディスク外周に配置されたピアスポルトだ。レオウイングFM9性能とコストを両立させるべく鍛造1ピース構造を採用するが、計算尽くのフォルムによりマルチピース顔負けのデザイン性を手に入れている。

20インチのチューナーサイズも用意

